



第五校区小中一貫教育目標 「やさしく かしこく たくましく」



第五小・開北小・第五中
第五コミュニティ

第2号



令和2年11月13日

第五中校区コミュニティ・スクールだより

子供たちや地域の輝く未来を創るために



第2回第五中校区学校運営協議会を開催いたしました。

10月13日(火)第五小学校にて、第2回第五中校区学校運営協議会を行いましたので御報告いたします。



次 第 司会：溝江ディレクター

1 全体会 1

始めの言葉 (五中校長)

会長あいさつ (岡山会長)

授業参観について (参観のポイント、参観方法、留意点) (五小校長)

2 授業参観 (2グループに分かれて、全学級の授業を参観)

3 全体会 2

【協議】①授業参観から見えた3つの資質・能力の育成

②地域学校協働本部に期待すること

その他

事務局から (学校教育課 岡山指導主事)

終わりの言葉 (佐久間副会長)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者は2週間前からの検温及び体調把握の実施、マスク着用、また、児童に近づき過ぎない等、対策に努めました。



始めに岡山会長より、現状とコミュニティ・スクールの意義、地域学校協働本部との関係について話がありました。(以下、一部抜粋)

「1970年頃からコミュニティが唱導されるようになりましたが、日本では、町内会、自治会の活動が根強く、コミュニティ活動がなかなか受け入れられないまま今日に至っています。しかし、自治会役員の手がないことや、加入者の減少等の解消策として、沼津市ではコミュニティ活動を推奨してきました。さらには、開かれた学校を目指してコミュニティ・スクール事業を指定し、第五校区をモデル地区としました。学校運営協議会からの要望は、地域学校協働本部がしっかり受け止め、具体的に実施していきたいと思えます。」

第五小学校の全学級の授業を参観しました。

全体会1において、第五小学校長より三校が取り組んでいる研修について説明がありました。三校は共通の研修テーマを掲げ、日々の授業を通して3つの資質・能力の育成に取り組んでいます。

小中共通研修テーマ (H30～)「問う力を育てる授業づくり ～(小)わくわくが生まれる授業～」
第五小研修テーマ「授業で育む人間関係形成能力～関わり合いを通して主体的に学ぶ姿の育成～」

また、溝江ディレクターより、グランドデザインに示された15歳段階までに育てたい資質・能力「人間関係形成能力」「キャリア・プランニング能力」「課題対応能力」についての再確認があり、それらが実際の授業でどのように育てられているのかという視点で、全学級の授業を参観しました。



3年1組 国語



2年1組 算数



4年1組 国語



1年2組 道徳

全体会Ⅱ 【協議】①授業参観から見た3つの資質・能力



(授業参観の感想)

- 全ての学級で「問う力を育てる授業づくり」「授業で育む人間関係形成力」の研修テーマのもと、その授業の目標やねらいが黒板に掲示され、活発な授業がおこなわれていました。このような授業をおこなうには、先生方の事前準備があつてであり、その大変さを感じました。
- 五小の授業参観をさせていただき、開北小の授業環境と似ており、たいへん安心しました。授業では、挙手の作法など、開北とほぼ共通でした。五小も開北小もどちらも、多くの子供を相手にした授業カリキュラムの設定など、先生方のご苦勞を察します。五小は、児童数が多く、クラスも多いので教室は広々としているものと思っておりましたが、開北小とさほど変わりなく、一年生は開北小と同じ2クラスでしたが、教室は窮屈な状態にあるように感じました。
- 授業では子供たちが、手を挙げ、指名を受けると、席を立ち、椅子を机の中に戻し、姿勢を正してから答える。この姿勢がみなさん徹底しており気持ちよかったです。いろいろな意見を言い合っても、例え発言が間違っていたとしても、必ずクラスからフォローが入るなど、意見を言った子が嫌な気持ちにならないような配慮もよかったです。
- 子供たちと先生の関係はほぼ良好であるとお見受けしました。子供たちは、生き生き、伸び伸びと楽しそうに授業を受けているようでした。この為に先生方は、どれほど授業準備に時間を要したり、クラスの環境や風土を整備したり、研修を重ねるなど、そのご苦勞は計り知れません。
- 授業中の支援が必要な子供への対応が、以前(十数年前)とは違い、とても良くなったと思います。以前は、支援が必要な子供は、教室でも特別視され隔離されているようなイメージを受けることもありましたが、今は、教室に違和感もなく溶け込み、自然な形で授業を受けていることに、先生方の様々な配慮を感じました。
- 外部の人が授業を参観に来ているにも関わらず、子供たちは落ち着いて授業を受けていました。日頃からのご指導のおかげではないでしょうか。しかしながら、おとなしすぎるくらいがあります。子どもらしいところも引き出してほしいと思います。子供たちの気を引くような理科の実験など、工夫をしていただき、興味を引き付けるような取り組みをしていただきたいと思います。
- 一見、みんな楽しく授業を受けているように見えますが、辛い気持ちを持った子がいるような場合、その対処法はどのようにされているのでしょうか？ また、授業についていけない子のフォローはどうしているのでしょうか？ など改めて教えていただきたいです。
- 信頼関係で結ばれていて、何でも話せる、悩みも相談できる、というような関係であれば、なお良いかと思います。しかし、あまり度が過ぎて、お友だちのような関係になってしまい、尊敬心を欠くようなことが無き様、注意が必要です。子供たちと先生方の関係は崩さぬ様、一線を越えない配慮をお願いします。



3つの資質・能力を視点にしたふり返り

- **人間関係形成能力**；子供と先生の一方的なやり取りではなく、子供同士で意図を捉える為の力、根拠を示す為の伝える力の工夫が行われていた。4年1組教室では、傾聴と根拠が両立されていた。
- **キャリア・プランニング能力**；責任感／主体性／自律性に関し、低学年では責任感、高学年では、それが主体性へと成長する様子が認められた。3年1組では、授業のキーワード「役に立っている」に子供たち全員を導くことで高学年に必要な主体性の体力作りが認められた。この主体性は中学生活にて自律性へと発展するものと期待される。
- **課題対応能力**；身の回りの課題を抽出し調整しながら対応するための計画力、最後までやり抜く為に必要な実施力の教えをみることができた。2年1組教室では、表現の大切さ、答えの前にプロセスを重視する計画力の授業が運営されていた。
- 先生方がグランドデザインを基盤に、授業を工夫し、効果を発揮できる環境作りに専念されている姿勢を直接見ることができたことは収穫でした。



全体会Ⅱ 【協議】②地域学校協働本部に期待すること（学校への支援について）

- ・コミュニティ・スクールを立ち上げ、推進していくにあたり、第五小学校全クラスを授業参観することで、地域としてどのような支援活動ができるのかを考える機会になりました。
- ・先生方がもっと気持ちの上でゆとりを持って子供たちに接することで、より良い影響を与えるはずで、素晴らしい授業と先生方の負担、両者の悩ましい現実を改善出来る方策を一緒に考えていきたいと思えます。

三校校長より

日頃は子供たちへの見守りや支援をありがとうございます。第五校区では既にさまざまな形で子供たちのためにご支援をいただいていますことに心より感謝申し上げます。今回、地域学校協働活動を始めていただくことになり、より一層心強く感じています。

（学校が願う支援）

- 登下校の見守り（交通安全、不審者対策、挨拶の声かけ）
- 環境整備（草取り、グラウンド整備、花壇の手入れ、窓ふき、清掃作業、消毒作業 等）
- 児童生徒支援（日常生活や授業において困り感をもっている子への手助け、見守り 等）
- 授業支援（家庭科ミシン作業、調理実習、そろばん、ICT活用、校外学習時の見守り 等）
- ゲストティーチャー（職業講話、道徳の時間の体験談、地域活動講話、社会福祉講話 等）
- 学校図書館支援（図書館整備、図書の補修、貸し出し作業の手伝い、読み聞かせ 等）
- 放課後学習支援（漢字や計算などの基礎学習の個別支援）
- 相談室支援（教室に入ることが難しい子供の見守り、話し相手、傾聴）
- 部活動、クラブ活動支援

可能な分野から、少しずつ実現していただければと思っています。よろしくお願いします。



- ・子供たちを取り巻く、複雑、且つ多様化した課題に対応する為に、学校から地域へ多くの支援が求められています。学習支援や校内の環境整備等、私達も地域の一員として共に改善していける様、地域学校協働本部会議と連携し支援策を検討していきたいと思えます。
- ・授業サポートなど多くの具体的な要望がありましたが、授業サポートは人材発掘の難しいところでもあります。一方では、コロナ禍で手薄になった学校施設の美化活動など、直ぐにでも実践可能なものもあります。これらを地域学校協働本部会議に要請し、実施していきたいと思えます。
- ・1クラス1人の学習以外支援員が保障されると保護者も安心できると思えます。不登校まではいかない保健室や別室での個別対応の子供の対応や保護者がしているドリルの○つけ等をしてもらえると、一人親家庭の保護者は大変助かると思えます。
- ・行事（運動会・校区祭・リレー会等）前、あるいは学校からの要請時の奉仕作業、花壇などの整備
- ・中学の部活動や小学校のクラブの学外顧問の招聘。教えられる方が増えれば、部活やクラブの種類が増えることも期待したいです。（たとえば、囲碁・将棋部とか家庭科部とか。）
- ・職業体験への協力、コミュニティから地域のお店や会社呼びかけることにより、受け入れ先や職種が増えていく期待増。

第2回地域学校協働本部を実施しました。

第2回学校運営協議会を受け、第2回地域学校協働本部会議を10/21に開催しました。コミュニティの部会に体育振興部を加えた7部会体制で当初取り組むこととしました。本会議の推進にあたり、連合自治会を通じて、その目的を地域の皆様に理解してもらうことで、協力を得ていくことを確認しました。

活動については、学校運営協議会からの具体的な要望を受け、人材発掘に努めていく一方、運動場の草取りなどすぐにできるものについては担当部門で進めていきます。



第2回学校運営協議会のまとめ

①創造力と三校グランドデザインについて

- ・ Society5.0 で示される超スマート社会の現代においては、従来の「知識の量」から、「問題を解決する力／創造する力」が求められている。
- ・ STEAM 学習は、その創造的思考力の形成を追求している。
- ・ 創造力とは、なぜ／知りたいという欲求である学びに向かう力が基礎にあり、三校グランドデザインもまた、この基礎は、非認知能力の育成から得られることを示唆している。
- ・ 即ち、三校グランドデザインには、やり抜く力／能力を信じる／自己肯定感（自己認識）、やる気／集中力／学習志向（動機付け）、粘り強さ／根気（忍耐力／持続力）、自制心／遵守（自制心）、リーダーシップ／協調性（社会的力）、失敗から学ぶ姿勢（回復力／対応力）、創造力／工夫／直感力（クリエイティビティー）等、創造する力を育成する為のキーワードで満たされていることが分かる。



②目標の実現に向けた支援サポートの充実化について

- ・ 三校グランドデザインが掲げる目標の実現に向け、その内容を共有し深掘する為の議論（熟議）を行った。
- ・ 実現のカギを握る支援サポートについては、学校側の働き方改革に則り、生産性を高められる方向性が見えてきた。
- ・ 先ずは、学校運営協議会の支援サポートの方向性に関して、地域学校協働本部会議に提案する。
- ・ 両者の連携を強化し、支援サポートの具現化、更には充実化を図っていく。

今後の予定

- ・ 第3回学校運営協議会は、令和3年2月10日（水）13:30より開北小学校にて行います。
- ・ 令和3年度の計画案は以下の通りです。詳細は2/10第3回学校運営協議会にて検討予定です。
 - 第0回；上記第3回にて令和3年度グランドデザインの基本指針を三校校長から説明。
 - 第1回；4～5月、グランドデザインを共有。
 - 第2回；1学期内、第五中授業参観+協議。
 - 第3回；前期振り返り+後期計画調整。
 - 第4回；2学期内、五小授業参観+協議。
 - 第5回；3学期内、開北小授業参観+協議（次年度グランドデザイン三校校長説明）



ありがとうございます。早速、有志の皆さんが校内環境整備を実施してくださいました。

◎第五中学校 池の掃除 10月18日（日）

PTA会長さんやOBの皆さんが、池に溜まった土や落ち葉をさらってくださいました。見違えるほど澄んで、メダカたちが気持ちよく泳いでいます。



◎開北小 草取り 10月24日（土）25日（日）

運動会を一週間後に控えた土日に、高所の枝を落としたり、生け垣を剪定したり、草取りをしたりと、学校敷地内を大変きれいにさせていただきました。今年はPTA奉仕作業も中止となり、学校職員のみでは十分な手入れもできず困っていましたが、有志の皆さんや少年団の皆さんののおかげですばらしい環境の中運動会を実施することができました。ありがとうございました。



◎第五小 花の輪広場の整備 11月7日（土）

7日の午前中に花の輪広場の整備をしていただきました。ディレクターさん、コーディネーターさん、地域の有志の皆さん、保護者の皆さん、子供たち、大勢の方が参加してくださいました。ありがとうございました。

